

令和7年度 第2回 学校運営協議会

日時	令和7年8月29日（金） 18時30分～
場所	知念小学校図書館
出席者	委員（13名）： 宮城春明、運天貴也、岩井太史、島田泰史、山内鈴乃、屋我和枝、吉田聡、菅海香子、吉田順太、前川真哉、津波善辰、内間晃、浦崎政成 オブザーバー（3名）： 市教委 中上郁夫 コーディネーター：仲宗根みゆき アドバイザー 入江優子

会議の内容
<会順> (1) はじめのことば (2) 会長あいさつ (3) 「学校評価アンケート」について (4) ルールメイキングについて (6) 知念小中学校地域ガイドプロジェクトについて (7) 今後の学校運営協議会での取り組み等について (8) 情報交換 (9) 閉会のことば
<学校評価について主な意見> 1 ～さんという呼び方は、今の時代にそぐわないかもしれない。時と場に応じた丁寧な言葉遣いをしていかなければいけない。 2 タブレットの破損があると聞いているので、できる限り修繕をお願いしたい。 3 高校の進路選択について、子どもまかせではなく、家庭内でも高校選びをして、学校での高校選択につなげたらどうか。 4 目標のない学校選びで、高校をやめて遠回りをしている人もでてきている。職業関連学校の希望が増えてきている。PTAも意識を変えて取り組んでいきたい。 5 テストで席次が出ないという課題はあるが、リトライでチャンスを与えるのは良いことだと思うので、仕組みを改善しながら取り組んでほしい。 6 数値が低い項目について、何が要因か分析して見る。

令和7年度 第2回 学校運営協議会

＜ルールメイキングについて主な意見＞

- 1 生徒会を中心に、各学級から挙がってきた内容を、生徒指導担当、管理職、職員会議で審議しており、良い取り組みである。今後は、保護者や地域からの意見に耳を傾けるということで、丁寧に取り組んでほしい。

＜知念小中学校地域ガイドプロジェクトについて主な意見＞

- 1 アマミキヨロマンの会や観光協会と連携して、斉場御嶽での中2ガイド養成、聞得大君御新下り参加者募集等、進めている。
- 2 小中一貫校に向けた会議も行われ、小中9カ年をスパンにして、自然・歴史・文化、中2を集大成の考え方で進めたらどうか。(中3高校入試のため)
- 3 地域の自然や歴史文化を学ぶことにより、琉球の歴史発祥の地南城市知念地域の魅力を知ってもらい、自信や誇りを持った生徒に育ってほしい。
- 4 総合的な学習のみならず、教科横断的な学習を通して「ふるさと学習」を実践していく。また、地域のことについて、あらゆるアプローチから探求学習を進め、商品開発や新たな仕事のアイデア等、地域を幸せにしてい(ハッピープロジェクト)視点も踏まえたカリキュラムを計画していく。

＜情報交換＞

- 1 知念未来塾(家庭教育支援型・公設民営塾)開設の目的、相乗効果について
- 2 学校評価についてのアンケート、ルールメイキング、地域の資源をいかした探求学習、良いと感じた。

＜決定事項など＞

- ・出来ることから、やって見る。PTA役員から提案して見る。
- ・知念中ガイドプロジェクトを、保護者や地域の人を巻き込みながら進めていく



【配布資料】	・「学校評価についてのアンケート」 ・ルールメイキングについて ・知念小中学校地域ガイドプロジェクト 【未来をつなぐ地域ガイド×ハッピープロジェクト（仮称）】
次回開催予定	令和7年10月17日（金） 18時30分～